

平成26年度 第2回小松市入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成27年2月4日(水) 小松市庁舎 低層棟4階 第3委員会室		
委員 (委員数4名) (出席者4名)	委員長 潮津 勇 委員 石田京子 委員 高見 健次郎 委員 宮島 昌克		
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 審議事項 (2) その他 ①審議の結果について 3 閉会		
審議対象期間	平成26年9月1日～平成26年3月31日		
抽出案件	7件		
物品	指名競争入札	1件	・硬性ビデオスコープ
	条件付き一般競争入札	2件	・平成26年度 林道北谷線 開設工事 ・荒屋子育てセンター増築工事
工事	指名競争入札	—	
	随意契約	—	
	条件付き一般競争入札	—	
	指名競争入札	4件	・小松市中央浄化センター管理棟耐震補強詳細設計業務 ・下水道管路施設改築実施設計業務 ・資源ごみ等収集運搬業務(Cブロック) ・一般廃棄物収集運搬業務(昼4区域)
委託	随意契約	—	
	指名競争入札	4件	・小松市中央浄化センター管理棟耐震補強詳細設計業務 ・下水道管路施設改築実施設計業務 ・資源ごみ等収集運搬業務(Cブロック) ・一般廃棄物収集運搬業務(昼4区域)
委員からの意見・質問 それに対する回答	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による報告 又は意見の具申	・建築一式工事は的確に見積もりし、予定価格を慎重に設定すること ・一般ゴミ収集運搬業務の入札順番を固定しない検討を求める		

委員からの意見・質問、回答等詳細は次のとおり。

委 員	小松市事務局
<p>2 (1) 審議事項 指名競争入札 ◎硬性ビデオスコープ</p> <p>○工事には選定の運用基準があるが、物品にはなく、登録業者の中から今回病院側で指名理由の一つとして納入実績のあるところを選んだということか。通常病院の場合は納入実績を重視するのか。</p> <p>○それは逆に言えば、納入実績がなくても、保守管理にすぐに対応してくれる業者であればいいということか。</p> <p>○ただ、実際のところ現実にそういう緊急事態が発生したときには、実績があるところの方が、迅速対応が大きく期待できるという趣旨なのか。</p> <p>○納入実績を選定理由とすると、納入実績がなかなかできない業者ができるということが懸念される。できるだけオープンにした方がいいのではないのか。競争力が働くのかを聞かせてもらいたい。納入実績についてはきちんと決めているのか。</p> <p>○医療用器具の入札の時には実績があるところを、指名理由にするのは一般的なのか。</p> <p>○今回の医療機器の場合、生命に直結する話なので、いろいろな事情があるかと思うが、反面、指名競争入札なので、競争原理を害する様なやり方を全てにやっていると</p>	<p>●物品の登録制度はある。分類が医療衛生の医療器具に登録されている者が小松市の入札参加有資格業者である。</p> <p>県内に営業所があり、なおかつ納入実績がある者とした。医療機器に故障等があるとき、すぐ対応していただく必要があり、これまでに当院に納入し、修理等の対応の実績があることは信頼性の重要な要素である。</p> <p>●はい。営業活動のなかでそういった対応の説明をいただき、かつ県内に営業所あれば、指名は十分可能である。</p> <p>●はい。</p> <p>●今回の医療機器について、営業の方の話を充分聞いた上で、緊急対応やメンテナンスの対応も充分可能と判断ができれば入れたと思う。ただ、医療機器で新たにこのような形での営業はないというのが実情である。</p> <p>●はい、一般的に県内の病院のどこも納入実績を把握していると聞いている。</p> <p>●医療器具では、身長計や体重計など軽微なものもあり、市内業者を指名している。命に関わり具合の器械の精度で、信頼性ということで病院が実績を重視することは理解できる。</p>

すれば、それは問題ではないか。

○納入実績というのは我々も当然大事にするが、小松への納入実績と限定するのは良くない。登録されている業者で、県内に営業所を有している業者は全部で何社くらいなのか。登録している業者から、県内に営業所を有しているところでまず絞られるのは、すぐに対応できるようにということが今の話で分かったが、そこからさらに5社に絞られる時に、外される業者はどれくらいあるのか。高度な医療器具を取扱いしている業者をお願いします。

○今回の予定価格は事前に公表してないということであるが、これは物品だからか、それとも病院だからなのか。

○今回のケースは特殊なものだからと言うことか、医療機器は大体そういうものなのか。

○定価があって、後は業者がどれだけ値引くかだけの入札のように感じた。

○システム全体であれば色々考え方がありますが、今回一部の製品と言ってもいいくらいだったので、最初から予定価格を公表しておけば、2回も入札せずに済んだのではないか。

●リストを用意する。小松市への実績とあるが、現在指名しているこの5社全部、県中でも能登でも納めている実績がある。

●病院の物品については、設計書により予定価格を出しているものではなく、このような機器は特殊なもので、一般的に定価は公表されていない。見積書を徴収した上で決定した予定価格で、公表は今のところしていない。

●はい。こういった物品にはメーカーがいう定価はあるが、例えば石川県内でも1個か2個というようなレベルでしか出ないので、特殊な市場性というか、テレビのように何社もあるような形のものとはやはり違うと認識している。

●今回が若干特殊だったのは、腹腔鏡システムの場合、このスコープの他にテレビモニター、光源装置、画像記憶装置、腹腔鏡内部の気圧を保つために空気を入れる気圧装置というものが一連になったシステムで、約2千何百万円の本体システムがある。今回はそのカメラの部分だけを購入した。

●ご指摘のとおりと思う。これまで行なってきた病院の手順をたどったということである。

<p>○分類の仕方が非常に大まかだと思う。医療機器の中でももう少し絞った方が良いのでは。体重計から救急車まで入っているのはどうかと思う。</p> <p>○メーカー指定は良くないといいながら、実はオリンパスから仕入れて入札をしている以上は、これ以外の追加の余地はないということではないか。これに接続するスコープがこれ以外にあるということを検討されたのか。</p> <p>○入札する際には入札を求める市側の方がその物品についてどれくらいの情報を持っているかということが、結果にも非常に影響を及ぼすと思う。与えられる条件ではなくて、自ら取りに言った情報というのも大事だと思う。例えば、自治体の病院か何かで価格の相互連絡がなかったか。</p> <p>○このオリンパスの場合は、何パーセントか。</p> <p>○そしてこちらの（入札の）方は75%で、割引としては、ちょっと高い。大きな機械を買う時には昔からそういう風に価格が出ているのか。</p> <p>○当初の見積り価格も自治体病院の85%になるときに、この金額に対して85%と</p>	<p>●（業者登録の資料到着） 県内市内含めて、医療器具の登録は52社である。医療器具の分類や取扱業者は多岐に渡るもので、この中から、やはり病院の方で実際の適切な医療機器の業者から判断していくしかない。</p> <p>●参加の登録書類の中には主な取り扱い品目も記載しており、判断の根拠としている。</p> <p>●腹腔鏡システムそのものは、ほかにもオリンパスが世界的シェアをもっている。ただスコープという部分でいうと、確かに他のメーカーも作っているのは事実である。病院のシステムに繋がられるか繋がられないかというのは、私たちの知識では判断できないところでもあるので、システムに繋がるものを用意してくれば良いという条件にしたということである。</p> <p>●調査委員会では、全国の病院がどれくらいの価格で出しているかわかっている。</p> <p>●85%である。</p> <p>●はい。</p> <p>●定価については確認している。定価が曖昧なときは、定価証明を提出させ、確認している。</p>
--	---

いう元となる金額の情報ももらっていますか。

○自治体病院で情報交換を行い、この機械は大体どのくらいの率で落札するかということ調べた中で、これだったら85%というところを75%に絞ったというところも、2回必要だったということもあるかもしれない。その情報を知っていたかそうでないかは分からないけど、そういうことで努力されているということですね。

○定価はいくらですか。

○指名審査委員会の方々は皆さん、病院関係者ですか。

○工事とかでは選定運用基準があるので客観性が保たれているが、病院ではなく市が物品購入をするときは、指名業者というのは誰が選定しているのか。

○要は、客観性が保たれているかどうかということですね。病院関係者で指名することなのですが、そうならざるを得ないのですか。

条件付き一般競争入札

◎平成26年度 林道北谷線 開設工事

○ずっと1社が落札している。入札参加数がどんどん減って、今回は1社のみということで、工法そのものが難しくなってきたのか、数が減ってきているというのはどういう要因が考えられるか。

数字もメーカーに出させている。

●340万である。

●はい。

●物品については、管財課で選定し行政管理部長決裁であるが、2000万以上になったときに指名審査会にあがる。

●特殊性がありますので、大きいものであったら、院内に検討委員会を設けて決めている。軽微なものであっても、特殊なものについては業者の意見は重要だと思っている。

●現場条件がずいぶん厳しいので、特殊工法での経験値が活きているのかと思う。また冬季に向かう工事なので控えることも想像できる。総合評価でもあり、競争性の観点から言うと疑問も出るかもしれないが、総合的に判断された上での入札と受け止めている。

○経験でいいものを作っていただくことは大事ですが、このままだと落札率がかなり高くなっていく状況にある。

○この工事は最終的には何年まで続くのか。

○この工事の距離はどうやって決めているのか。今年はこちらまでという、最終的なゴールはきまっているのか。

○場所よっての難しさは、参加してくる業者の数と何か関係するものなのか。

○1社というところがひっかかる。同様の林道でこのような工事現場は、他にないのか。

○補強土壁はそんなに特殊ではないのか。

○やはり実績が重要なのですか。この1社は優良表彰も受けられているので、品質もいいということなので、問題は全くないと思うのですが、来年度も1社だと落札率が99.9%になったらよくないと思う。

●今年が1社だが、昨年一昨年は価格競争がおこなわれている。その時々業者の状況次第である。

●計画では29年度だが、今の残延長からいくと、2年から3年延びるかもしれない。

●予算的な配分もある。例えば今回のような特殊な壁を作らなければならない区間だとメートル単価が高くなるし、単に山を削るだけで済むような区間なら、施工延は伸びる。予算ベース、総額を想定して、あと何年でやろうかという区割りによって、逆に延長が決まってくる。

●急斜面のところそんな工事はしたくないという業者は当然ある。誰でも簡単に参加してくる工事ではないと思う。

●補強土壁までして車線を確保して施工する林道は、今の小松市ではここだけである。

小松の栗津温泉から加賀の山中温泉につながる基幹林道安谷線につなげるため尾根まで登りきらなければいけないので、施工条件が厳しくなることは多い。

●特殊ではない。

●かなわないと判断する業者が出てくるのは想定できるが、総合評価なので、競争を期待するしかない。

条件付き一般競争入札

◎荒屋子育てセンター増築工事

○これまでも、その地域にある業者が他にいないからなんとか頑張るといような入札はあったのですか。

●はい。

○第一回目の入札は予定価格超により無効ということですが、入札価格は分かるか。

●わかっている。

○（予定価格より高いということは）ある意味抗議を込めた価格だったのですか。

●予定価格は上限拘束価格なので、見積価格が高ければ本来辞退である。しかしあえて予定価格を超えて応札したのであればそうであろうと受け止める。

○もちろん市民として税金を払う立場からすれば、価格を抑えていただけののがありますがたい話ではあるが、反面施設を利用する市民の立場からすれば安全性ということがありますので、工事を手抜きされたりするとそれは困る。そこはやはり的確な見積りというか、予定価格を出すことに慎重になっていただきたい。

●24年4月からの落札の動向をみますと、建築業界の条件が厳しいことが窺える。

○1回目に使った価格がまた次の見積りのときに同じような基準で採用されるのか。

●入札を行う立場としては、より現場条件に近い単価で、適正に設計価格を出すようお願いしている。繰り返さないようにしたい。

○物価本の基準を、工事の規模によって変えてしまうと、1回目の予定価格を上回る価格に合わせにいったのではないかというところが残る。

●担当によっても考え方が変わることはあるので、統一していかなければならない。

○基準のないものについては当然、事前調査というか、見積りをとったり、過去の実績のデータを取って、それをある程度全体を考慮して次の発注につなげてもらいたい。

●市として見直さなければいけない。

○誰が見ても基準が客観的に正しいと思えるものでないと、最初の入札価格にあわせたのではないかと思ってしまう。

○第1回目の金額に対して業者が上回る見積りを出したということは誤解を招きやすい。業者の気持ちも分かるが、結果として良くない。

○入札の1回目と2回目で時間がたつたので、価格を変えるのは当たり前です。2回目も、発注月が遅れて値上げしている段階なら、価格がもっと高くてもいいように思う。

指名競争入札

◎小松市中央浄化センター管理棟耐震補強詳細設計業務

◎下水道管路施設改築実施設計業務

○設計業務に関して、数値的に落札決定するときは価格だけで決定するのか。決定の精度高さと物の良さはまったく関係ないのか。

○ある程度こういう風に設計してくださいというようなものは出されているのか。

○後者の下水道の方は大体やり方が決まっているから、同程度の価格で、前者の中央浄化センターの価格にバラつきがあるのは、色んなやり方があるからという理解でよろしいか。なぜ同じような価格で皆出してくるものと、バラバラの価格のものがあるのか。

●見直しの結果決まった予定価格であるが、そう受け止められてもしかたない。

●前例にならないようにしたい。

●ご指摘のとおり。

●本件は2件の同時審議です。

●価格だけです。

●はい。建築であれば建築のイメージがあって、それを担当者と協議していく。土木系では技術を検討していく。ほかにも特記仕様書で業務の内容について規定している。

●最初の小松市中央浄化センターの業務は、耐震診断もあるし、重要施設との関係も考慮しなければいけないので、コンサルなりの対策工法はいろいろであるが、後者の長寿命化計画の工法は国に登録されている近年の新工法で、ある程度国の方で定めているため、成果に幅がないという面がある。

○ある程度工法など決まったもので、価格が同じようなものに関しては、価格だけで選ぶのもあるのかと思うが、前者の業務を価格だけで選ぶというのは、皆が出された提案はどうなるのか、とにかく安ければいいということで決まってしまうのか。

○業務の場合は完成後の点数評価はあるのですか。工事に点数がつくのと同じようにあるのか。

○まず耐震補強設計業務委託なのですが、予定価格に対し、1番目と2番目が近接していて、予定価格に近い3番目が離れている。そうするとこれだけの差というものがあるのか。本体だけの設計をやっていて、過去のものを利用できるから少し安くなるという、そうことか。

○その他の4社が予定価格と同じと言うのは、積算根拠があるのかなと思う。

指名競争入札

◎資源ごみ等収集運搬業務（Cブロック）

◎一般廃棄物収集運搬業務（昼4区域）

○競争が行われているかということに興味があったが、入札結果をみれば、皆さん競争していて、全体としてみればほとんど1社を除いて落札している。取れなかった1社は参加資格としてはどうなのですか。

○資源ごみについてはどうなのか。

○そういった意味ではかなり苦戦を強いられるのですか。

●委託業務については総合評価というやり方もあるが、小松市は採用していない。業者の提案を求めるくらいのプロポーザルという形でやっていて、その中間的な総合評価というのは、設計業務では採用していないという実情の中で、こうなっている。

●はい。

●本体設計はしていない。

●特に受注を求めない場合は辞退すればいいのだが、業者によっては辞退せずに予定価格で応札することがあるようである。

●資源ごみは受託できるが、一般廃棄物は資源ごみの実績を2年以上有しないと受注できない条件なので、一般廃棄物については入札参加できない。

●資源ごみは1地域受注できるが、2地域はできない。

●はい。

○この入札に加わっている人達は、ごみの収集運搬以外にも、何か仕事はされているのか。

○本業で、今回の入札が勝負ということか。

○入札した人達で、大体資源ごみの独占はされている現状があるのか。

○業務の特別性で、当不当が分からないのですが、現状は分かりました。

○地図のところですが、ABCD と分かれています、山の方とかも必ず週に何回かはいけないといかないのか。

○落札の順番の ABCD が毎年一緒な順番なのか。

○例えばDブロックを落札したいと思っている人が、この順番だったら最後のDにかけるしかないのか。結局一つも取れなかった人は、どういう原因で取れなかったのですか。

●されていないと思う。

●この一般廃棄物収集は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で、小松市のごみをどう処理するか計画を立てなければいけない。一般ごみ収集はその計画に基づいてやっているが、市としては業者数を増やせばいいというものでなく、地域によって指名業者の範囲の上限は想定している。市の認可上、どれだけでも競争業者が増えてくるという状況にない。処理計画に基づいて、パッカー車を持ったりするので、地域の業務が適切に処理されるかを想定して、収集業者の数を決めているようである。
許可の範囲で条件を満たす業者の中での競争入札となるので、このような傾向は出てくる。

●プラス1社2社の争いで誰かが受注できない程度である。

●はい。

●価格の高いものからやることはあるが、(今回は) 予定価格が一緒ですので、順番を変えずにAから執行した。1区域でも価格が違うなら、我々としては高いものから開札している。

●なんとも言えない。

○変えると逆に不公平になったりすることがあるのか。結局一つも取れない業者もいる。どうにか打つ手はあったのか、事業継続に関わる問題であったら、その辺の不公平をどうにかできないのか。

○大体の収集にかかる時間とかも公平になるように組み合わせはされているのか。

○ABCD は金額が同じなのですか。

○予定価格の計算を見ると、ガソリン代とかタイヤとか入っているから、面積が広いと高いのかなという印象をもったが、なぜ同じになるのか。時間は同じなのか。量は一緒でも距離が短いことはあるのか。

○高いほうから開札するというのが普通だが、金額が同じものが入札されている。同じならば、指摘があったように入札順番をローテーションしてもいいのかなと思う。ローテーションだったら、今不公平感があるのかないのかは分かりませんが、より公平感が出るのかなと思う。固定するよりはいい。

○では、ローテーションを変えてやった場合どうなるかということの検討を提起とします。

●順番がいつも固定すると、最後のとりたいたところがとれないとか、一つでも取りたいというのと、ここをどうしても取りたいというのは違うが、難しいところである。

●長年の中での実績報告を受けて、統計をとっていると思うので、そうになっている。

●はい。

●市内の中でも、厳密に言えばそのとおりです。走行距離で言えば年間何キロ走ったという距離が大体36,000キロとなっているのが実際である。

●資源ごみと一般廃棄物の順番を単に変えてみるというのも一つかもしれない。

●検討する。